

吾妻山砂防通信



鳥川小学校中庭から望む
吾妻連峰

第23号

川のこと、砂防のこと 一緒に学ぼう！

小学校5年生の理科や社会の授業では、河川や自然災害、防災について学ぶそうです。このほど、福島河川国道事務所職員が福島市内2つの小学校の学習のお手伝いをしました。土石流模型実験で土石流の恐ろしさ、砂防堰堤のはたらきも一目瞭然だったようです。

平成23年11月24日
蓬萊東小学校5年生(59名)が「水のはたらき」や「自然災害を防ぐ」をテーマに学びました。



荒川資料室にて、荒川が源流部から阿武隈川との合流部まで、どのように変化するかを学びました。その後、四季の里北側に現存している江戸時代に作られた霞堤を見学しました。



平成23年12月2日
鳥川小学校5年生(57名)が阿武隈川の洪水と治水について学びました。



みんな一生懸命メモをとっています。当事務所職員の説明の後、たくさんの質問をもらいました！

過去最多の1800名が力走！

第14回あづま荒川クロスカントリー大会



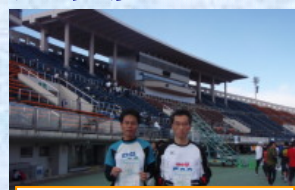
荒川の河川敷を駆け抜ける！

あづま荒川クロスカントリー大会は12月11日(日)県営あづま陸上競技場を発着点とし、荒川の河川敷や林間を駆け抜けるコースで開かれました。県内外から過去最多1,812名の参加(エントリー)がありました。

クロスカントリーのコースは、最長は男子13km(登録有形文化財に登録された石積みの「地蔵原堰堤」やさらに上流にある「荒川遊砂地・大暗渠砂防堰堤」を渡るコース)、最短は小学校男女の2.3kmコースです。まずは小学校5・6年男女がスタート、その後、中学男女、高校男子、女子、一般男子などが順次スタートし各部門がタイムを競いました。

あづま荒川クロスカントリー大会に参加して…

今回は6.5kmのコースに参加しました。当日の天候は快晴で絶好のコンディションの中、多くの声援を受けながら自然豊かなコースを走り抜け、無事完走することができました。今回は大震災があった特別な年の大会でしたが、過去最多の参加者で素晴らしい思い出に残る大会でした。次回はぜひ大暗渠砂防堰堤まで走る13kmコースに挑戦したいと思います。:荒川ランナーS



無事完走した荒川ランナーS
(国交省)のメンバー

吾妻山の火山活動



吾妻山は活火山であり、有史以来多くの記録が残されています。
吾妻山の火山活動と火山の防災についての紹介します。

◆吾妻山の火山活動◆

吾妻山(吾妻連峰)は、福島県と山形県の県境にある連峰です。日本百名山のひとつであり、火山が作り出す景勝地や温泉を目的に訪れる登山客や観光客が多く、観光は地域の重要な産業のひとつとなっています。

一方で火山群として約30万年前から現在まで火山活動を続けています。有史における最大の火山活動は1893年(明治26年)の噴火です。このとき火口周辺を調査中の2名が、爆発による火山弾の直撃を受け殉職しました。近年では1977年(昭和52年)に小規模噴火がありました。2008年(平成20年)11月には一切経山から噴気が上がり、現在も続いています。



◆現在の噴火警戒レベル◆

噴火警戒レベルとは、火山活動の状況を噴火時等の危険な範囲や必要な防災対応を踏まえて、5段階(レベル1~5)に区分したものです。

現在、吾妻山の噴火レベルは「1」(平常)で活動は落ち着いています。

吾妻山・磐梯山・安達太良山の火山活動(噴火警戒レベル)は福島気象台ホームページで公表されています。

◆いざと言うときの心構え◆

- ・火山が噴火すると石や灰を大量に吹き出します。噴火の危険が予想される場合には決して近づかないようにしましょう。
- ・吾妻山の周りに沢山の雪が積もっている時期に噴火すると、噴火の熱で雪がいっせいに溶け、福島市に大量の火山泥流が流下する可能性があります。
- ・万一来るに備え、ハザードマップ等で確認しましょう。

◆吾妻山火山防災マップ◆

・有史以降最大の火山活動である明治26年の噴火と同程度の規模を想定したハザードマップ(吾妻山火山防災マップ)が作成されています。

・吾妻山火山防災マップは、福島市の「市民ガイドブック」に掲載されています。

また、福島市役所(※)や福島河川国道事務所のホームページでも確認できます。

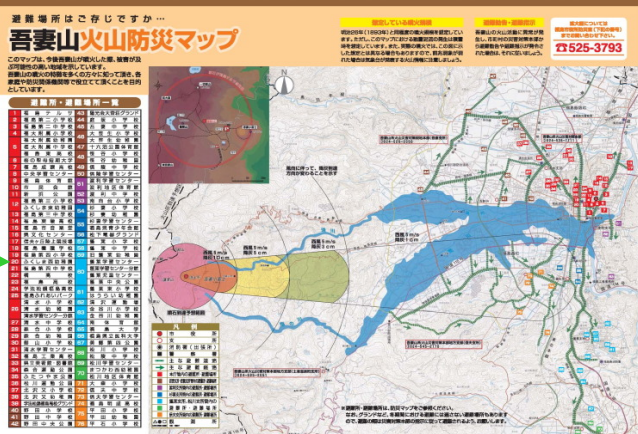
(※)福島市役所HP→緊急の場合→防災情報→災害がおきたら→●吾妻山火山防災マップ



福島河川国道事務所HP→砂防→吾妻山の火山活動に備えて

◆火山対策の現在の取り組み状況◆

・現在日本には108の活火山が分布しています。国土交通省では、いつどこで起こるか予測が難しい火山噴火に伴い発生する土砂災害に対して、緊急対策を迅速かつ効果的に実施し、被害をできる限り軽減(減災)するために火山噴火緊急減災対策砂防計画を策定することとしています。吾妻山については、吾妻山・安達太良山・磐梯山の3火山同時に検討する「福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」(事務局:福島河川国道事務所)を設置し検討しています。なお、福島河川国道事務所では計画策定に先駆け、山頂まで光ファイバーを敷設し監視カメラを設置しています。まだ一部工事が残っていますがご協力よろしくお願ひします。



お問い合わせはこちら

(ご意見・ご感想・砂防に関すること)

国土交通省 福島河川国道事務所

吾妻山山系砂防出張所(本庁舎)

〒960-2156

福島県福島市荒井字地藏原甲2-14

TEL 024-593-0831

吾妻山山系砂防出張所(松川庁舎)

〒960-2261

福島県福島市町庭坂字遠原三3-4

TEL 024-591-1207

H P <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

